

A Message from Prof. Kuroda



黒田研の会報「KuroRepo」を発刊することになりました。卒業生・在校生の交流に役立てていただければ幸いです。

慶應の最も優れた文化は、人のつながりの強さです。昨年12月にベトナムのホーチミン市に出張しました。私の訪問を聞き付けた三田会ホーチミン支部の皆さんが私を夕食に招待してくれました。商社、保険会社、エレクトロニクスメーカーの第一線で活躍の経済学部や理工学部を卒業されたみなさんにお会いできて、大変楽しいひと時を過ごしました。こうしたネットワークが慶應卒業生の大きな財産なのでしょう。

ホーチミン市で見た人々のしあわせな顔が印象的でした。「明日は今日よりも良くなる」と信じて、みんなで力を合わせて今日を懸命に生きている姿が、しあわせに見えたのでしょう。昨年は、インド（バンガロール、デリー）も訪問しました。アジアは遅くも発展しています。今世紀は確実にアジアの世紀になるでしょう。毎年、KAISTや清華大学と交流を重ねています。昨年は北京に集まりワークショップを開きました。アジアのネットワークも広げていただければと思います。

私たちは狭い世界（スモールワールド）に住んでいます。世界のさまざまな分野で活躍している皆さんが、研究室を通じてネットワークを更に広げていただければ幸いです。ノウハウの時代からknow whatの時代を経て、これからはknow whoの時代です。

黒田研は今年9周年を迎えます。昨年10月に卒業生と在校生が同数（25名）になりました。そこで、今年1月12日に第1回黒田研石黒研OB会を開催しました。15人の卒業生が集まってくれました。毎年成人の日にはOB会を開催します。こちらにもご参加ください。

在校生たちも頑張っています。ISSCC2009では4件の論文発表を行います。これは、大学の研究室としては最多記録になります。

最後に、初回の編集の労を取ってくれた西村君、花井君、川田さんに感謝します。

2009年1月 黒田忠広